



軽快な飛行! 単フロート型オリジナル水上機

OS FS-26
サーパス搭載

アーチン ジュニア

本機は、7年前に本誌カラー・ページで紹介されたロータリー・エンジン搭載の水上機「アーチン」の2代目（バックナンバーをお待ちの方は、本誌'85年9月号をご覧ください）。翼長3.5mのジャンボジェットや数々の変形機的设计・製作で有名な、安藤由隆氏（横浜市）の新作機である。

同氏は水上機にも造詣が深く、年に数回、仲間と近隣の湖に泊まり掛けて出掛け、水上機を楽しんでいるが、陸上機オンリーのマニアにも水上機の面白さをぜひ味わってほしい、そんな願いを込めて、初級者にも作れるようにデザインしたのがこの「アーチンジュニア」。したがって、設計にあた

っては①直線部分を多用して工作の簡素化を図ること、②市販のバルサ材（長さ600mmと900mm）で組立可能なこと、③フロート性能が良いこと、④飛行性能に優れ、恰好も良いこと、以上を念頭に置いたようだ。

ギラギラと太陽が照りつける夏は、水際に涼を求めるのが一番。でも、水上機にもっとも適した季節は観光客のあまりいない春と秋。市販キットに飽き足らない方は、ぜひ本機に挑戦してみてもいいかが？

本機の詳細は今月号159ページに掲載



↑名エンジンとして定評のあるOS FS-26サーパスを簡易なラジアル・マウントで搭載。オーソドックスな正立スタイルのため、メンテナンス性も良好だ。
←水上機にエンストは大敵。離水前にエンジンの調子を診る安藤由隆氏。